

各位

平成21年7月31日
近畿日本ツーリスト株式会社
ブランド戦略室広報 担当：立花
(TEL：03 - 3257 - 1661)

旅行取扱状況の概観（平成21年6月分）

海外旅行の取り扱いは、先月同様、新型インフルエンザの影響が大きく大幅な前年実績割れとなった。

団体旅行では、一般団体が前年比41.8%、学生団体が26.3%と大きく前年実績を下回った。

海外企画旅行では、ホリデイが取扱人員で前年比71.1%、取扱額は前年比55.3%となり消費支出の減少による出控えと新型インフルエンザの影響により低迷した。個人合計としては、国際航空券が若干の復調の兆しは見えるものの、企業の海外出張が低迷し、前年比47.5%と大きく前年を下回り、全体として70.1%となった。その結果、海外旅行合計としては前年比52.1%となり前年実績を大幅に下回った。

国内旅行の取り扱いも新型インフルエンザの影響を受け、団体旅行では、一般団体が一部海外団体からの振替があったものの前年比84.3%、学生団体は前年比70.9%とそれぞれ前年を下回った。国内企画旅行では、メイトの取扱いが、前年比79.7%であった。国内個人旅行は、JR券・航空券・宿泊券・観光券ともに低調で前年実績を下回った。その結果国内個人旅行は前年比85.2%の結果であった。国内旅行合計も、前年比79.2%となり前年実績を大幅に下回った。

外国人旅行は、前年比56.2%の結果であり低調であった。

6月の総取扱額は、前年比68.6%と低調であった。

注 上記の取扱額には燃油サーチャージ分が含まれています。

(以上)